

特別研究委員会名称	震災復興支援・住宅特別委員会
新規、継続の種別	新規
委員長氏名、所属	狩野徹（岩手県立大学）
公募の有無	あり
研究目的と 主な研究事業	<p>当委員会はこれまでの震災復興住宅特別研究委員会を継続するもので、引き続き避難所や仮設住宅環境の実態把握と改善方策、今後の仮設住宅のあり方検討等の調査研究を進めていく。また、今後建設が多く見込まれる際が公営住宅の課題を明らかにし、復興へむけた住宅のあり方やまちづくりの支援を行う。現地活動は岩手県、福島県を中心に予定している</p> <p>主な研究事業は、以下の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会の開催 年4回程度関東地区で開催する。この他岩手県や福島県での支援活動も予定している。 2. 活動方法は、数名単位のWG（仮設住宅研究、住宅再建とまちづくり、災害公営住宅など）を構成し、独自の活動も行う。 3. 成果公表 公開研究会、シンポジウム、仮設住宅の統廃合等今後求められる対応についての諸提案を行う予定。
その他特記事項	特になし